

特集
1

・秋の六義園で日本文化に親しむイベントを開催します!

特集
2

・第23回日比谷公園ガーデニングショー2025

特別
特集

・～道路について楽しく学ぼう～「夢のみち」2025イベント開催!
・第5回「無電柱化の日」フォトコンテスト作品募集中!
毎年11月10日は無電柱化の日です



「秋の六義園」大泉水



「秋の六義園」日本茶文化講座



日比谷公園ガーデニングショー2025

秋の六義園で 日本文化に親しむイベントを開催します!



特別名勝

六義園

参加費 **無料**

※入園料別途

秋の六義園では、
“日本文化に親しむ”をテーマに様々なイベントを開催します。

伝統芸能「江戸太神楽」 ※雨天中止

令和7年10月18日(土) 12時・15時(各回30分)

日本茶の淹れ方を学ぶ「日本茶文化講座」

令和7年10月25日(土)・26日(日)
10時～16時の随時(1回15分程度)



江戸太神楽(過去開催の様子)

津軽三味線演奏会 ※雨天中止

令和7年11月3日(月・祝) 12時・15時(各回30分)

庭園に映し出された「和歌の浦」パネル展

令和7年10月18日(土)～12月6日(土)



和歌の浦パネル展(過去開催の様子)

※イベントの詳細はHPをご覧ください。



問合せ先

六義園サービスセンター

TEL: 03-3941-2222

HP: <https://www.tokyo-park.or.jp/park/rikugien/>

ペアで泳ぐフォーアイバタフライフィッシュ

葛西臨海水族園 飼育展示係 松村 哲

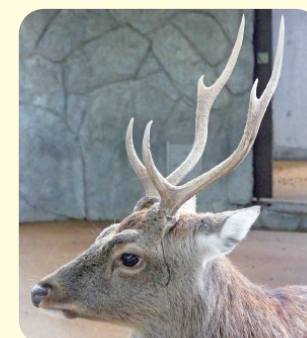
葛西臨海水族園「世界の海」エリア「カリブ海」水槽では、チョウチョウウオのなかま、フォーアイバタフライフィッシュを展示しています。フォーアイとは4つの眼という意味で、体の後ろにある黒色斑が眼のように見えることに由来します。本物の眼には黒い帯がかかり、偽物の眼とあわせて、捕食者から急所を隠す機能があると考えられています。

本種は、野外では基本的にオスとメスのペアで一定のなわばりを守り、さらにその2個体で繁殖をする一夫一妻であることがわかっています。展示している個体もいつもペアで泳いでおり、たまに互いに違った方向に泳ぎつつも、つかず離れずの距離をたもっています。一夫一妻のチョウチョウウオがペアで泳ぐ理由は明らかになっていませんが、2個体で泳ぐことが同種他個体からなわばりを守るうえで有利になったり、なわばり防衛にかかる時間やエネルギーを節約できることで、その分を繁殖につかうことができたりするようです。

飼育係が水槽でチョウチョウウオのペア飼育を試みる際は、相性に注意を払います。相性が合わないと片方がボロボロになるまで攻撃をしてしまうからです。同性の個体同士だからなのかもしれませんが、やっかいなことに、このなかまの体色に性差は無く外見から性を判断することが難しいのです。そのため、すでにペアになっている個体を採集したり、展示する組み合わせを変えたりと、さまざまな工夫をしています。

動物園の“かお”

井の頭自然文化園 ヤクシカ



屋久島にすむニホンジカの亜種のひとつで、他の亜種と比べ小さな体をしています。毎年春に生え変わるオスの角は、夏にかけて成長を続けます。そして恋の季節を迎える秋にかたい角が完成するのです。

「かたい角が完成したヤクシカ」
撮影日：2024年8月29日